

建築主：四街道市
 設計：株式会社 佐藤総合計画
 施工：戸田建設株式会社千葉支店
 鵜沢建設株式会社

複合施設の楽しさをひきだした

所在地：四街道市和良比635-4

四街道市南部総合福祉センター「わろうべの里」



正面玄関側からの外観

住民を交えたワークショップ形式で設計が進められたという「わろうべの里」は、子供連れの親子でにぎわっていた。老人福祉センター、児童デイサービスセンター、地域コミュニティーセンター、福祉ショップという5つの機能をあわせもった複合型の公共施設である。こうした複合型の施設はこれから増加していくと考えられるが、そのときの課題は複合することによるメリットをうまく引き出すことができるかということだろう。それぞれの施設の機能性の違いや行政の管轄の違いによって、ただ壁を共有しているだけ、もしくは不自然に区画されていたりと、なかなか複合によるメリットを引き出すことは実際には難しい。「わろうべの里」では、エントランスを含めた大空間に多機能な空間が混在し、それぞれの活動が居合わせている、その雰囲気はなかなか楽しい。エントランスの庇など、意匠



2階縁日通りブリッジより南東方向を望む

的には洗練されない箇所がいくつか気になるが、全体の構成としては、こうした施設のひとつの望ましい解答とみることできるだろう。

(篠原聡子)



2階：本のひろば／1階：娛樂室